

9月1日は『防災の日』

問い合わせ
総務グループ
(☎85) 1130)

登別市は、豊かな自然に囲まれている一方、地震、津波、洪水、土砂、火山などのさまざまな自然災害が発生する恐れがあります。

特に津波については、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震（想定される最大クラスの地震）に伴う津波が冬季の深夜に発生した場合、約20,000人という甚大な人的被害が想定されています。しかし、これらの被害は、行政だけではなく、企業、地域そして個人が一体となり、迅速な避難とソフト・ハード両面からの対策を行うことにより大きく減らすことができます。

そのために、今一度、さまざまな災害に対する避難方法や避難場所の確認をするとともに、必要な備蓄品や非常持ち出し品について確認しましょう。

最大クラスの地震の発生に伴う被害想定

- ①第1波到達予測時間 39分（市内最短）
 - ②津波の高さ 12m（市内最大）
 - ③人的被害 20,000人（死者数）
- ※③は冬季・深夜の災害を想定。

写真は東日本大震災後の宮城県（2011年4月撮影）

災害に備えた準備を！

災害が発生した場合、ライフラインが停止する可能性があります。自宅避難に備えて食料や飲料水、携帯トイレなどを3日～1週間分備蓄しておきましょう。また、避難場所への避難に備えて非常持ち出し品を整理しすぐに持ち出せるよう準備しておきましょう。

冬季災害に備える

積雪寒冷地である登別市は、低体温症となるリスクが考えられます。冬季の災害に対する備蓄や持ち出し品の準備を行い、寒さから身を守る対策を取りましょう。

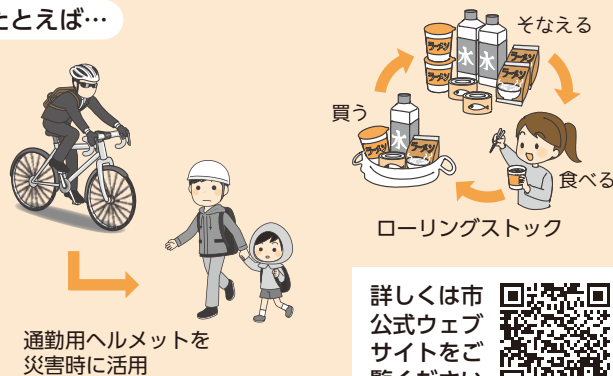
たとえば…



『フェーズフリー』とは

『日常』と『非日常』の局面（フェーズ）を自由（フリー）にし、【備える】けど【災害のためだけに備えない】、日常生活でも災害時でも活用できる商品や考え方が新しい防災の発想として生まれています。

たとえば…



通勤用ヘルメットを
災害時に活用

詳しくは市
公式ウェブ
サイトをご
覧ください



登別市で初めての冬季総合防災訓練を行います

市は冬季の災害に備え、次のとおり総合防災訓練を実施します。
詳細が決まりましたら、広報のぼりべつや市公式ウェブサイトなどでお知らせします。

【実施日】 令和7年2月1日(土)

【場 所】 総合体育館（メイン会場）



昨年の全市一斉避難訓練の様子